

科目名	履修学年	単位数	教科書	副教材等
実用数学	3	3		数研出版 4STEP 数学Ⅱ＋B
到達目標				
数学Ⅱ、数学Bの各分野について、発展的な知識の習得を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばすとともに、数学的な見方や考え方のよさを認識し、活用する態度を育てる。				

評価の観点	評価の内容
a 関心・意欲・態度	数学的な考え方に関心を持つとともに、それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
b 数学的な見方と考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
c 数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
d 知識・理解	数学における基本的な概念・原理・法則などを体系的に理解し、身に付けている。
評価の方法	
単元テスト、課題等の提出状況、学習活動への取組などの総合評価となります。	

年間指導計画													
前期							後期						
月	予定 時数	学習内容	評価の観点				月	予定 時数	学習内容	評価の観点			
			a	b	c	d				a	b	c	d
4	5	第1章 方程式・式と証明					10	5	第5章 微分と積分				
	4	第1節 整式・分数式の計算	○	○				5	第1節 微分係数と導関数	○	○		
5	4	第2節 2次方程式			○		11	5	第2節 導関数の応用			○	○
	4	第3節 高次方程式			○	○		6	第3節 積分		○		○
	3	第4章 式と証明		○	○				第1章 数列				
		第2章 図形と方程式						8	第1節 数列	○	○		
6	5	第1節 点と直線		○		○	12	5	第2節 いろいろな数列			○	○
	5	第2節 円			○	○		4	第3節 漸化式と		○		○
7	3	第3節 軌跡と領域	○	○					数学的帰納法				
		第3章 三角関数						6	第2章 ベクトル				
8	6	第1節 三角関数		○		○	1	6	第1節 平面上のベクトル	○	○		○
	7	第2節 加法定理			○	○		6	第2節 ベクトルの応用	○		○	
		第4章 指数関数と対数関数					2	6	第3節 空間における		○	○	
	6	第1節 指数関数		○		○			ベクトル				
9	6	第2節 対数関数			○	○	3						
	6												
							計 105						

※原則として一つの単元ですべての観点について評価するが、特に重点的に評価を行う観点について○をつけている。

履修上および学習上の留意事項
数学Ⅱおよび数学Bの授業で学習した内容の応用問題や発展問題を中心に行い、学びを深めていきます。基礎・基本の定着を前提に進みますので、既習内容を事前に確認して授業に臨んでください。